

令和4年 年頭の挨拶

年頭挨拶

相互扶助の精神で PR事業中心に 全力傾ける

全日本一般缶工業団体連合会 会長
東日本一般缶工業協同組合 理事長

廣瀨 泰久



明けましておめでとうございます。
令和4年の年頭にあたりまして、一言ご挨拶させていただきます。

コロナ禍も2年にわたって私たちの暮らしや経済に影を落としましたが、昨年11月頃から、ようやく出口が見えてきたところ、年が明けた途端、オミクロン株の増大に端を発して新規感染者数が急増し、予断を許さない状況となっております。

こうした環境下で連合会の活動は大きな制限を受けることとなりましたが、逆にリモートでの活動を取り入れることにより、むしろ、より活性化されてきました。

典型的なのはPR事業。全てリモートによる打ち合わせを何度も繰り返すことで、超スピードでオリジナルグッズ「ミニ蝶番缶」を製作しました。表面は動植物が地球を囲むようにデザインされ、SDGs（持続可能な開発目標）を想起させています。

裏面には一般缶の教育動画を閲覧できるQRコードが印刷されています。SDGsへの貢献を訴えるパネルも、良い感じで出来上がりました。

このところ、ブリキ・TFS材料をはじめ、あらゆるものが値上がりしてきており、その対応に苦慮されている方も少なくないと存じます。本年もPR事業を通じて何とか一般缶の魅力をより広く発信してご理解を深めていただけるよう努めてまいります。

私は、一般缶業界に求められている役割と機能には①供給責任②品質管理③コストダウン④品揃え⑤得意先への様々な支援⑥提案営業⑦衛生管理・3R・SDGsがあると考えております。

本年も相互扶助の精神を大切にしながら、PRを中心とした積極的な共同事業を展開し、こうした役割と機能を果たしていくために、皆様と共に全力を傾けて参ります。

結びに、連合会に関わる会員並びに関係各社の皆様の一層のご活躍とご隆盛を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感

製鉄プロセスの 脱炭素化実現に 官民一体で取り組む

経済産業省製造産業局 金属課長

松野 大輔

(はじめに)
明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、一言御挨拶申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症でこれまでにお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げるとともに、健康面や生活面などで影響を受けておられる方々に、心からお見舞い申し上げます。

我が国にとって、一般缶業界を筆頭とした金属産業は幅広い産業を支えるサプライチェーンの中核を占める重要産業ですが、金属産業をめぐる環境は大きく変化しており、これに対応するためには、官民一体となった取組が必要です。

こうした中、金属産業などの基礎素材産業の将来に向けた課題と方向性について、昨年12月の第10回産業構造審議会製造産業分科会にて、議論・検討を開始したところです。

(2050カーボンニュートラルの実現)
国際的な脱炭素の流れが加速しています。我が国の産業部門におけるCO2排出は35%を占めており、CO2排出量削減は喫緊の課題となっております。これまでと同等の品質を維持しつつ、製鉄プロセスの脱炭素化を実現するための研究開発に、官



民一体となつて取り組んでいきたいと考えております。

（デジタル社会の実現）

金属産業におけるデジタル化については、業務効率化や生産性向上の目的に留まらず、新たな製品やサービスの提供、しいてはビジネスモデルの変革にもつながるものと考えており、今後の更なる動きに期待しております。

（下請等取引適正化）

サプライチェーン全体での取引適正化や、取引条件の改善も重要な課題です。

金属産業における取組としましては、2021年の手形取引の適正化等の下請振興基準の改正を受け、「金属産業取引適正化ガイドライン」を改訂しました。

下請取引の適正化の推進はもとより、電子化推進や2026年の約束手形の利用廃止に向けて着実に歩みを進めていくことが必要です。また、足下の原材料価格やエネルギーコストの上昇を踏まえ、適切に価格転嫁を行うっていくことが重要です。

（安全対策）

経済産業省では、製造業安全対策官民協議会を開催し、業界内での取組を共有しました。業界の皆様におかれては、引き続き、積極的な情報交換を通じ、改めて、安全対策を徹底していただきますよう、お願い申し上げます。

（おわりに）

新型コロナウイルスの感染拡大についてはまだまだ注視が必要な状況ではありますが、経済産業省としては、皆様とも連携しながら、我が国金属産業の成長のために全

力を尽くしていく所存です。

最後に、一般缶業界の皆様の益々の御発展と、本年が素晴らしい年となることを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

モノづくりの力で世の中を元気にする年に

日本一般缶工業協同組合 理事長

清水雄一郎



明けましておめでとうございます。

組合員並びに賛助会員、関係各社の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの問題発生から約2年が過ぎましたが、今年も新年早々から再び、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言発令の検討なども聞こえ、未だ停滞しているのか、はたまた確かな好転の中にあるのか、状況の捉え方が難しい年明けを迎えております。

ただ、そのような悩ましい環境の中であつても時間は過ぎていくもので、何かと

理由をつけてやるべきことを後回しにしていては真の進歩はないと思う次第です。

一部、希望も込めてですが、個人としては今年の前半は規制と緩和が続き、年末に向けて徐々に景気も回復していくのではないかと予想しています。それを前提として、前半の落ち着かない状況の中で、萎縮し過ぎずに新たな一手をいくつ打てるかがとても重要ではないかと考えます。

混沌が続く世の中で、新たな一手といっても何をすべきか迷うこともありませんが、やはり我々がつくり続けてきた一般缶の価値を今一度見直し、自分たちの商品を一人でも多くの人に届け、世の中全体を元気にするような仕事を積み上げていくことが大切ではないかと思えます。

モノづくりの力で人に喜んでもらい、その輪を大きくしていく中で世の中を元気にしていく。我々一般缶メーカーの強みは「つくる」ことです。「つくる」は創造すること。脈々と受け継いできた技術とノウハウに、現代のニーズやつくり手のセンスを加えていくことで、この先も多くの人に喜ばれる商品を生み出すことは可能だと信じています。

当組合に関わる各社が、それぞれの得意分野でそれぞれの技術とセンスを注ぎ込んだ商品を数多く生み出し明るい話題で業界が盛り上がることを祈念して新年のご挨拶を締めくくりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



年頭挨拶

経済変化に順応し長所伸ばし 自社発展の年に

中部製罐工業協同組合 理事長

安藤 宏行



皆様には令和4年の新年を迎え謹んでお喜びを申し上げます。

旧年中は中部製罐工業協同組合に対して多大なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。本年も昨年同様よろしくお願ひ申し上げます。

さて、令和3年を振り返りますと、コロナをきっかけにして経済スタイルや社会の在り様が変わりました。また、感染拡大防止に対してワクチン接種の遅さがあり、結局、オリンピック・パラリンピックの無観客開催となりました。興業的にはさみしい結果となりましたが、素晴らしいパフォーマンスに多くの人が感動しました。

経済面では、コロナ前に戻りつつありますが、海外とのサプライチェーンの不具合で様々な業種で経済回復の水を差されています。また、我々の業界の主原料である鉄の値上がりは、今年から来年にかけ、大き

な懸念事項としてあります。

当組合としては、労働力人口の減少に伴うデジタル化等による省人化の推進、また、多能工化をすすめるなどして事業継続の対応を行ってまいります。更に協業化をすすめる企業間の協力関係を深め、事業の効率化を図ってまいります。また、値上げにつきましては、辛抱強く顧客のご理解をいただきますよう、あきらめずに行なってまいります。

今年、ウイズコロナとしてライフスタイル、ビジネスの変化が起こり、新しい需要が生まれてくると思われれます。また、コロナ前の経済規模に回復するといわれています。経済変化に順応して積極的に変えるべきところは変え、長所を伸ばして自社の発展につなげていただければ幸いです。

本年が皆様にとりまして良い年となりますように祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

環境問題への取組 人手不足の解消等 課題山積 力強く跳躍できる年に

全日本金属印刷工業協同組合連合会 会長

中田 正和



明けましておめでとう、ございます。皆様にはご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は一昨年に引き続き「新型コロナウイルス」に大きく影響される一年となりました。夏には「デルタ株」が猛威を振るい、10月には累計死者数が1万8千人を超えてしまいました。ワクチンの接種率が高くなり、これで落ち着きそうだと思ったのもつかの間、新たに「オミクロン株」なるものが出現し、再び人々はコロナの渦に投げ込まれた感じでした。この2年間、生活面での制限、不自由を余儀なくされ、多くの人が不安不満を抱えてきています。

こうした暗い雰囲気の中で大谷翔平選手の活躍は我々日本人にとって光明をもたらしました。本塁打を打ったかどうか、勝利投手になったかどうかで毎日のようにたくさんの方が一喜一憂したものでした。

スポーツ界では他にも日本人の活躍が目を見えました。ゴルフでの日本人初のメジャー制覇となる松山英樹選手のマスターズ優勝。また女子ではメジャー制覇3人目となる笹生優花選手の全米女子オープン優勝。テニス界では大坂なおみ選手の2度目となる全豪オープン優勝。東京オリンピックでの史上最多のメダル獲得。体格に劣る日本人が様々なスポーツ競技で活躍を見るにつけ大きな勇気をもたらす思いをいたしました。

コロナの影響で仕事の面ではリモート、オンラインが推奨され、仕事の仕方・場所が大きく変化してきています。が、工場生産しなくてはならない我々製造業にとっては非常にやりにくい不自由さを痛感させ

られました。緊急事態宣言で大きなダメージを受けた飲食店では宣言解除を受け再開しようにも人手不足で思うようにいかない報道されていますが、我々製造業も求人しても反応がないという労働力不足に陥っています。他にもコロナで多大な経済的損失のみならず大きな影響を受けている業種はたくさんあるはずで。

今年の日本経済は引き続きコロナの影響を引きずってのスタートとなります。政府の支援を必要とする業種も多々あり、岸田内閣には思い切った経済施策を期待いたします。

世界では昨年より先進国を中心に社会・経済活動とも正常化が進み、世界経済は需要不足から供給不足に流れ、物価が上昇。特に資源価格の上昇は大きな問題となっています。日本でも諸外国からの部品の供給がなされず生産ができない企業が多くありました。この供給不足は解消されていくだろうという予測です。日本経済も正常化され、成長も見込まれています。GDPが前年に比較して3%上昇するという景況予想が出されています。徐々に我々が肌で感じる景気も回復に向かっていくことになってほしいものです。

とはいうものの、我々企業には今年も引き続き様々なリスクや課題が待ち受けています。環境問題への取組、人手不足の解消等々といった課題。またここ数年大地震や大型台風など自然災害のリスクも高まっています。

今年の干支は「寅」です。トラは十二支の中で最も勇猛な干支です。難しい年では

ありますが「虎視眈々」とチャンスをうかがい、虎のように力強く跳躍できる年にしたいものです。

皆様方の本年のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

厳しい時代に 地球環境や自然との 共生視点が必要

東京都鍼灸地金商業協同組合 理事長

松苗 昭文



あけましておめでとう、ございます。

皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。また全日本一般缶工業団体連合会には長きにわたり、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、1月には米国にバイデン政権が誕生、その後に香港問題、人権問題等により米中の摩擦が高まっております。一方、ヨーロッパ諸国においても一部で中国との亀裂が生じ始めてきております。日本においては東・南シナ海や

台湾での有事の懸念が徐々に高まってきており、今後の日本の安全保障、外交の難しさが益々浮き彫りになってきております。コロナ感染症もオミクロン株の世界各地でのまん延により、その不安を残したまま日本でも新年を迎えることとなりました。

嬉しいニュースでは、4月にはマスターズで松山秀樹選手が日本人で初めてメジャータイトルを勝ち取り、7・9月にかけて開催されました東京オリンピック・パラリンピックでも多くの選手たちが私たちに感動を届けてくれました。また、選手たち自身が、その陰で支えてくれた方々へ感謝も忘れていなかった事も記憶に残っております。松山選手も自著で、今までお世話になった方々の中で一人でも欠けていれれば今の自分は無かった、と語っています。

さて、私たちは目まぐるしい時代の変化の中にあつて、感染症、気候変動といった大きな課題に直面しております。日々の生活、仕事をどう進めたいのかを考えさせられる厳しい時代です。将来の生活にも、経済活動にも、地球環境や自然との共生の視点が重要です。昨年の選抜野球の高校球児の宣誓の言葉をかりれば、「当たり前前だ」と思う日常は誰かの努力や協力で成り立っている」と気づくことが大切であり、またそれは地球環境や自然環境がそうさせてくれた、とも言えるかもしれません。

今年の干支、壬寅には「陽気を孕み、春の胎動を助く」との意味合いがあるようです。一般缶業界にとりましても新しい活気溢れる年になりますよう祈念致します。新年のご挨拶とさせていただきます。

全日本一般缶工業団体連合会

Zoomで「新年の集いOnline2022」開催

自社の利益確保・拡大につながる 価格交渉のノウハウ学ぼう

全日本一般缶工業団体連合会は令和4年1月21日、Zoomを活用して「新年の集いOnline2022」を開催した。参加者は50接続47社、71人。馬場康之運営副委員長の司会で進行した。

主催者を代表して廣瀨泰久会長は「連合会の活動は新型コロナウイルス禍でも以前に比ベリモトで頻繁に行い、水戸部伸寿PR委員長を中心に「ミニ蝶番缶」や「一般缶SDGsパネル」の製

柳義久氏の
講演要旨

テーマ「取引条件の改善に向けた交渉術」

価格交渉は、自社製品及び日本ブランドの維持・向上のために欠かせない取り組みである。個々の取引について、実際に交渉が行われ取引条件が改善されていく動きが広まるよう、政府も取り組んでいる。価格交渉の第一歩として、どのような取引行為が発注者の法令違反に該当するのの理解する必要がある。発注者も法令違反を認識していない場合がある。発注者は、客観性のあるデータや合理的な根拠に基づく交渉を望んでいる。価格交渉の心得は①経営戦略の一部と認識する②「価格は簡単には変えられない」という意識を捨てる③価格を追求せず、

価値を創り価値を訴求する④値上げは横並びに行わない。重要でない顧客から順に取り組む⑤値上げで離れた客は遅かれ早かれそうなっていたと割り切ることである。



オンラインで講演する柳義久氏

全日本一般缶工業団体連合会

ノベルティ用 「ミニ蝶番缶」を製作



全日本一般缶工業団体連合会は令和3年11月に新作のノベルティ「ミニ蝶番缶」を製作した=写真。個数は1万缶。サイズは57W×50D×16H(mm)。PR活動の推進機関を担う全日本一般缶PR活動推進協議会(委員長：水戸部伸寿理事)が企画した。表面は「缶=鉄を大切にすることで地球上の自然も一緒に大切にしていこう」というコンセプトで子供たちにも喜ばれるよう動植物が地球を囲むように描かれ、高い機能性と意匠性を備えた容器に仕上げた。裏面には連合会が制作した教育動画「人の技と夢が詰まった一般缶」と「台東育英小学校出前講座」が閲覧できるQRコードを印刷した。今後はエコプロや組合まつりなどで来場者に配布し、一般缶の魅力を広くアピールしていく。

西日本一般缶工業協同組合は令和4年1月13日、一昨年から続いている新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、Zoomによる新春互礼会を開催し、組合会社など7人が参加した。

清水雄一郎理事長=写真=は冒頭「本当ならリアルで開催できたら良かったが、コロナの問題から2年が経ち、今はリアルに人が集まる状況を作るのが難しい世の中になっている。これから徐々に状況が良くなって来ていると思う。コロナの実態も少しずつ分かってきており、恐れずに対応していき、春が過ぎて夏頃にはコロナ以前の状態まで良くなってくると信じている。色々な面での対応が必要だが、皆様と情報を共有することを大切に、コミュニケーションをとりながらやっていきたい」と挨拶した。

次いで馬場康之副理事長の先導で乾杯した。そのあと、参加者との交流に移り、自社の近況報告や新しい年を迎えるの抱負等について情報交換が行われた。

最後に小西康晴副理事長が閉会の挨拶を行い、全員退出した。



東京都中央会会長表彰受賞

東日本一般缶工業協同組合 関根浩二理事、野口雅春事務局長

令和3年10月15日、東京・中央区の銀座プロッサム中央会館で開催された東京都中小企業団体中央会表彰式で多年組合の向上発展に寄与した功績により、東日本一般缶工業協同組合の関根浩二理事、野口雅春事務局長が同会の大村功作会長から表彰状を授与された。



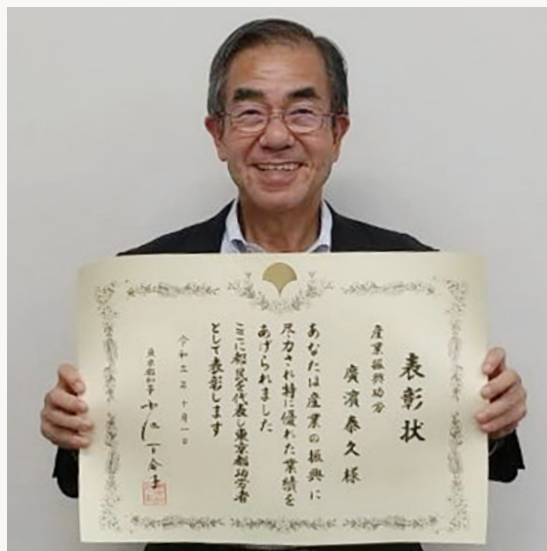
喜びの関根浩二理事(右)、野口雅春事務局長(左)

東日本一般缶工業協同組合

廣瀨泰久理事長が 令和3年度 東京都産業振興功労者として 表彰される

令和3年10月1日、都民の日に東京都庁で行われた令和3年度東京都功労者表彰式において、東日本一般缶工業協同組合の廣瀨泰久理事長=写真=が産業振興功労者として表彰された。「産業振興功労」は東京都の産業振興、より良い文化生活の発展のため尽力した方々を東京都が表彰するもの。

今年度の表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小して開催され、同理事長はインターネットを通じて参加した。



DXの基本を学び将来の可能性導く

一般缶インノベーションフォーラム Online2021を開催

全日本一般缶工業団体連合会

全日本一般缶工業団体連合会は令和3年10月27日、「一般缶インノベーションフォーラムOnline2021」を開催した。

テーマは「中小企業が取り組むデジタルトランスフォーメーション（DX）推進とは」。

今回も昨年同様、コロナ禍の収束への道筋が見えないため、「Zoom」を活用して実施した。会員会社など38社、99人が参加した。司会是小西康晴運営副委員長。

来賓として出席した経済産業省製造産業局の松野大輔金属課長は「本日のテーマであるDXは非常に時宜にかなっており、前向きな取組に敬意を表する。元々鉄は我々の経済や暮らしの土台になるので、なくてはならない非常に重要な産業。中でも一般缶は極めて身近な素材で我々の暮らしを支えており、非常に大事な物資だ。本省としては、こうした産業が引き続き成長産業として発展していけるよう、政策対応をしつかりやっていきたい。昨今のカーボンニュートラルを見据えた中でリサイクルできる一般缶は見直されると思うので、非常に期待



オンラインで挨拶する松野大輔金属課長

感や価値観を持った分野の素材だ。さらに一般缶業界は歴史ある企業が多いので、知識や経験などのデータ蓄積をデジタルの議論の中で活用され、新しい価値を創

造されていくことも一つの成長戦略の道と考えられる。本日のフォーラムを通じて新しい可能性を見いだして頂ければ、日本の経済産業にとっても非常に大きな一歩になる」と挨拶した。

講演では、中小企業診断士の丸橋大志氏が「DX導入初級編」について解説した。次いで、NPO法人JASIPA（ジャシパ）DX推進委員長・(株)ビーエスシー代表取締役の林義行氏と(株)オレンジアーチの中谷肇氏が「DX推進事例」について説明した。

質疑応答のあと、清水雄一郎副会長が「DXについては、今まで言葉先行で具体的に感じられないところが多かったが、事例中心の説明で非常に勉強になった。本日の講演が今後に生かせるよう、各社がしっか



オンラインで参加の皆さん

りとDXを実践していこう」と閉会の辞のべ終了した。



林 義行氏



中谷 肇氏

DX導入初級編

中小企業診断士
丸橋 大志氏



ポイント

これから少子化や労働力不足が確実に進むので、これまでの人力に頼っていたところが、機械・システム・デジタルに置き換わっていく流れに進む。DXとはデジタルトランスフォーメーションという言葉の略。まずデジタル技術があつてトランスフォーム、変革があつてデジタルと変革を足して、生活を革新していくことがデジタルトランスフォーメーション。つまりデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革していくのがDXだ。

では、このDXをどう実現するか。まず、豊かにするために、ボトルネックとなつていく部分がある。例えば従業員負担となる労働作業や非効率な単純作業をデジタル

化技術というエッセンスを入れることで省力化・自動化する。あとは無人化への段階を経れば、作業内容がかなり変わってくる。

作業内容が変わると働き方が変わり、働き方が変わると生活が変わる。最終的には生活を変えるところまで踏み込んでやっていくのがDXの最終的なゴール。デジタル技術を使い従業員にも豊かな生活が送れるようすることも大事な視点。DXで失敗するポイントは3点。①目的がはっきりしない②デジタルツールを短絡的に導入③全体最適ではなく部分最適。この逆を意識して導入すれば成功に近づく。次世代サービスとはDXによって顧客や従業員の生活を豊かにし、お客様に豊かな価値提供を達成できるイメージ。次世代サービスの要点は三つ。

①利便性。例えば缶であれば、それが将来的には、簡単につぶせて小さくできるような缶の開発②即時性、短時間での提供。ロボットやAIを使つてのサービス③社会問題、環境配慮、SDGsへの対応。

まとめ

もう時代の変化は止められない。その中でDX、デジタルを使った生活変革というのは、否応なしに出てくる。DXで変革させるようなコンテンツを提供できる会社が生き残っていく。失敗のポイントはあるが、失敗せずにしっかりとDXを構築することができれば、お客様にとってプラスの次世代サービスにつながっていく。その中で使える技術は非常に多い。あとは全体最適なものを組み合わせていくところが最も難しいので専門家と相談するのが一番の近道だ。

「組合まつり in TOKYO」に出展
世界屈指の高リサイクル率をアピール

東日本一般缶工業協同組合は令和3年12月2日・3日に東京国際フォーラム ホールEで開催された東京都中小企業団体中央会主催の技と食の祭典「組合まつり in TOKYO」に出展した。来場者は2日間で6千人超。

組合ブースには「世界に発信。スマートなニッポンの一般缶」 「一般缶（スチール缶）でSDGs（持続可能な開発目標）に貢献しよう」を掲げたパネルと組合員から提供された一般缶を展示した。当ブースに来場した人には全日本一般缶PR活動推進協議会で製作したノベルティ「ミニ蝶番缶」を配布した。

一般缶（スチール缶）が世界屈指の高リサイクル率（2020年度94%）を示し、環境に優しく、循環型社会に貢献していることを広くアピールし、販路拡大等を目指した。



展示ブースの様子



会場ステージで来賓挨拶をする小池百合子都知事

全日本一般缶工業団体連合会

「エコプロ2021」に共同出展

一年ぶりのリアル開催
新作「一般缶SDGsパネル」を掲示



新作の一般缶SDGsパネル

全日本一般缶工業団体連合会は令和3年12月8日から10日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロ2021～持続可能な社会の実現に向けて～」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。新型コロナウイルス感染症が発生して以来、リアル開催は1年ぶり。

当ブースの一般缶コーナーでは、会員各社から提供された一般缶を展示。また、金属印刷の流れについて説明したパネルのほか、全日本一般缶PR活動推進協議会で昨年11月末に製作した「一般缶SDGsパネル」を掲示した。さらに連合会のDVD『人の技と夢が詰まった一般缶』の中の「一般缶と3R（スリーアール）」とスチール缶リサイクル協会のDVD『無限リサイクルの秘密』を合体させたビデオをエンドレスで上映した。

今回は全体の出展規模が縮小された関係で、3日間の総来場者数は54,885人（2019年は147,653人）となったが、この展示会を通じて「リサイクルの優等生である一般缶（スチール缶）」の良さをアピールした。



西日本一般缶工業協同組合
理事長 清水雄一郎
大阪府大阪市北区天神橋
二四一七 千代田第一ビル
電話 〇六(六三三三)一九七三
FAX 〇六(六三三三)一九六七

江戸川製罐株式会社
代表取締役 岩田明義
東京都江戸川区平井五十四六一九
電話 〇三(三六一二)四一三一
FAX 〇三(三六一七)五〇三四

生野金属株式会社
代表取締役 小西康晴
大阪府高石市高砂三二二四
電話 〇七(二二六八)〇七七七
FAX 〇七(二二六八)〇七八二

光工業株式会社
代表取締役社長 吉田龍一
広島県東広島市志和町冠
電話 〇八(四三三)五〇四一
FAX 〇八(四三三)五四五三

日本製鉄株式会社
代表取締役社長 橋本英二
東京都千代田区丸の内二一六一一
電話 〇三(六八六七)四一一一

中部製罐工業協同組合
理事長 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五一)五六六一
FAX 〇五六四(五一)一五六三

工又工金属工業株式会社
代表取締役社長 中田則彦
茨城県つくば市緑ヶ原四一六
電話 〇二九(八四七)七二二〇
FAX 〇二九(八四七)六七七九

株式会社ゼンユー
代表取締役社長 砂川秀樹
大阪府大阪市淀川区加島
四一〇一四四
電話 〇六(六三〇九)四〇三二
FAX 〇六(六三〇二)二二〇〇

日西製罐株式会社
代表取締役 矢谷満里子
大阪府大東市御領三五一二〇
電話 〇七(二八七四)〇九七一
FAX 〇七(二八七五)四二五二

JFEスチール株式会社
代表取締役社長 北野嘉久
東京都千代田区内幸町二二二二三
電話 〇三(三三九九)三一一一

全日本金属印刷工業協同組合連合会
会長 中田正和
東京都墨田区業平一〇二一六
本所ビル二階
電話 〇三(三六二六)二四一一
FAX 〇三(三六二六)二五〇二

株式会社神宮製作所
代表取締役 神宮芳次郎
千葉県野田市上三ヶ尾二六一
電話 〇四(七二五)二二六一
FAX 〇四(七二五)三六三七

エーエス精器株式会社
代表取締役 有山健一
大阪府東大阪市西石切町
六一六一一四
電話 〇七(二九八二)一〇八一
FAX 〇七(二九八二)一〇六七

三國金属工業株式会社
代表取締役社長 板垣毅
大阪府豊中市豊南町西四七一〇
電話 〇六(六三三三)〇二五一
FAX 〇六(六三三四)〇二五五

東洋鋼板株式会社
代表取締役社長 田辺敏幸
東京都品川区東五反田二一八一一
大崎フォレストビルディング
電話 〇三(四五三二)六八六〇
FAX 〇三(三三二八)八一六〇

東京都鋳力地金商業協同組合
理事長 松苗昭文
東京都中央区日本橋大伝馬町一七
電話 〇三(三六六三)八三五七
FAX 〇三(三六六三)八三五八

杉浦製罐株式会社
代表取締役 杉浦由記夫
茨城県守谷市百合ヶ丘
二一四八〇七
電話 〇二九七(四八)二五五一
FAX 〇二九七(四八)二五五二

江戸川製罐工業株式会社
代表取締役 渡邊静雄
大阪府大阪市鶴見区今津北
一一七一三八
電話 〇六(六九六八)六七六一
FAX 〇六(六九六二)三二五八

明和金属工業株式会社
代表取締役 渋谷剛志
大阪府高石市取石七一五一六
電話 〇七(二二七四)二二〇一
FAX 〇七(二二七二)六三六五

全日本一般缶工業団体連合会
会長 廣瀨泰久
副会長 清水雄一郎
副会長 安藤宏行
東京都台東区浅草橋五一四一五〇
ハシモトビル五〇二
電話 〇三(五八〇九)三三三六

株式会社ヒロハマ
代表取締役社長 廣瀨庄一郎
東京都墨田区石原二二八一一一
電話 〇三(三六二五)二六八〇
FAX 〇三(三六二五)一六八八

水戸部製缶株式会社
代表取締役社長 水戸部伸寿
東京都千代田区神田和泉町
一一三三一
電話 〇三(三八六六)二一六六
FAX 〇三(三八六六)二三八八

奥村製罐株式会社
代表取締役 奥村清司
京都府綴喜郡井手町大字多賀
小字西松ヶ花一
電話 〇七(七七四)八二二〇七八
FAX 〇七(七七四)八二四三二四

山雄製缶工業株式会社
代表取締役 山本浩之
大阪府大阪市北区大淀中
五一一一二四
電話 〇六(六四五一)五一四一
FAX 〇六(六四五一)〇八二一

東日本一般缶工業協同組合
理事長 廣瀨泰久
東京都台東区浅草橋五一四一五〇
ハシモトビル五〇二
電話 〇三(五八〇九)三三三六
FAX 〇三(三三八四)〇九一一

金方堂松本工業株式会社
代表取締役社長 松本旭央
東京都台東区東上野一一二八一二
電話 〇三(三八三二)一一九一
FAX 〇三(三八三二)七一四四

大阪製罐株式会社
代表取締役社長 清水雄一郎
大阪府東大阪市岩田町二二二二八
電話 〇六(六七二二)五五四五
FAX 〇六(六七二二)三三四七〇

下宮金属工業株式会社
代表取締役 下宮正裕
大阪府堺市堺区南島町三丁一一三一
電話 〇七(二二三)八一二〇
FAX 〇七(二二三)八一四〇

有限会社山野初製缶所
代表取締役 木下光美
大阪府八尾市太田七一〇
電話 〇七(二九四八)〇五五八
FAX 〇七(二九四八)二八五五



スチールリーフ株式会社
代表取締役社長 茂木孝之
東京都葛飾区亀有五丁目四八―一五
電話 〇三(三六二〇)八〇三〇
FAX 〇三(三六二〇)八〇六〇

二橋プリント株式会社
代表取締役 二橋英之
埼玉県三郷市彦川戸一―三八―六
電話 〇四八(九五三)二三六一
FAX 〇四八(九五三)五四二一

株式会社井上博商店
代表取締役社長 井上歩美
大阪府大阪市住吉区万代東
一―一四〇
電話 〇六(六六九)一一二二五
FAX 〇六(六六九)一一二二七

**株式会社
愛罐コーポレーション**
代表取締役 桑田敬士
東京都渋谷区本町二―三九―一四
電話 〇三(五三〇)四五五一
FAX 〇三(五三〇)四五六一

日東製罐販売株式会社
代表取締役社長 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五)一五六一
FAX 〇五六四(五)一五六三

エイコー株式会社
代表取締役 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二二)八三七三
FAX 〇四八(九二二)八三七五

**株式会社
城北鋳力印刷工業所**
代表取締役 竹腰忠臣
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇―一
電話 〇四(七一八)二六一一
FAX 〇四(七一八)二七七九

**JFE商事ブリキセンター
株式会社**
代表取締役 谷口充浩
大阪府大東市新田旭町六一―一
電話 〇七(二八七)〇九七三二
FAX 〇七(二八七)〇九七三〇

大貫金属工業株式会社
代表取締役 大貫雄一
東京都葛飾区東新小岩
五―一七―二〇
電話 〇三(三六九)六一七九
FAX 〇三(三六九)六一七九

高野興業株式会社
代表取締役 高野康弘
東京都墨田区本所一―二―一三
電話 〇三(三六三)一一一六六
FAX 〇三(三六三)六二六六四

株式会社 M O B Y
代表取締役社長 宮内 太
千葉県市川市塩浜一―一四
電話 〇四七(三〇六)〇二一〇
FAX 〇四七(三〇六)〇二一九

株式会社江連金属印刷所
代表取締役 江連 一
千葉県松戸市上本郷八一
電話 〇四七(三六二)〇一三五
FAX 〇四七(三六二)八七一五

是松鋼商株式会社
代表取締役社長 是松 一郎
大阪府東大阪市楠根二丁目六一―三
電話 〇六(六七四)二三六一
FAX 〇六(六七四)〇四〇〇

**株式会社
セゾン保険サービス**
代表取締役社長 富岡勝巳
東京都豊島区東池袋四―二―一
電話 〇三(三九八)一五二六
FAX 〇三(三九八)八二二七

富安株式会社
代表取締役 田川正之
東京都墨田区太平四―五―一五
電話 〇三(五六一)七七七〇
FAX 〇三(五六一)七七六〇

大成ブリキ印刷株式会社
代表取締役社長 中田正和
茨城県稲敷郡河内町長竿
富田四四六二
電話 〇二九七(八六)二二〇一
FAX 〇二九七(八六)二四二〇

新里機工株式会社
代表取締役 金澤 幸一
埼玉県川口市東領家四―七―一
電話 〇四八(二九二)九〇九七
FAX 〇四八(二九二)九〇九八

三幸商事株式会社
代表取締役社長 武田有広
大阪府大阪市西区北堀江
一―二―一四
電話 〇六(六五四)九三三一
FAX 〇六(六五四)三五八八

千代田第一工業株式会社
代表取締役社長 鈴木信夫
東京都狛江市岩戸北三―一―一九
電話 〇三(三四八)四二一一
FAX 〇三(三四三)〇四三七

中村商事株式会社
代表取締役 中村 定
東京都千代田区神田和泉町一―七―一
電話 〇三(五六八)五九一一
FAX 〇三(五六八)六一五五

東都金属印刷株式会社
代表取締役 菅谷誠一
千葉県船橋市小野田町一五二―一―三
電話 〇四七(四五七)五四六一
FAX 〇四七(四五七)七二三八

株式会社N・P・W技研
代表取締役社長 山本将之
三重県伊勢市佐八町八九四
電話 〇五九六(三九)一一三三三
FAX 〇五九六(三九)一一三六

株式会社 神 光
代表取締役 小河朋久
大阪府吹田市南正雀一―二八―一
電話 〇六(六三八)四四六六
FAX 〇六(六三八)六〇一一

明邦鋼業株式会社
代表取締役社長 窪島孝行
埼玉県越谷市新川町一―一四―五
電話 〇四八(九八七)〇七〇一
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

富安金属印刷株式会社
代表取締役社長 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二二)一五八一
FAX 〇四八(九二二)二六二〇

松本金属工業株式会社
代表取締役 松本勝俊
大阪府大阪市北区天満二―二―一八
電話 〇六(六三三)〇九四一
FAX 〇六(六三三)九四四九

西部容器株式会社
代表取締役社長 川島大吾
大阪府摂津市別府二―三―一八
電話 〇六(六三九)一六五一
FAX 〇六(六三九)七二二八



東日本一般缶工業協同組合
CPSM会

令和3年11月10日筑波カントリークラブで第69回CPSM会を開催した。参加者は21人。
上位入賞者は次の通り。

優勝	中村匡宏氏 (神宮製作所)	42	43	85	12	73
二位	中田則彦氏 (エヌエス金属工業)	42	42	84	13	71
三位	牧野亮太氏 (マキノ製缶)	40	42	82	7	75
シニア枠	廣演泰久氏 (ヒロハ)	43	46	89	12	77

次回は令和4年4月に開催予定。

**令和3年8月から
令和4年1月までの行事**

東日本一般缶工業協同組合

- 令和3年 8/30 全国組合士協会連合会
〔第2回理事会〕(Zoom)
- 9/2 第2回理事会(Zoom)
- 9/8 商工中金都内店舗
事務局局長会議(Webeex)
- 9/15 東京中央会「事業承継セミナー」
(書面表決)
- 9/15 東京中央会(令和3年度
上期情報連絡員報告会)
- 9/21 事務局局長協会「総務部会」
(Zoom)
- 9/24 全国組合士協会連合会
〔第1回Webセミナー〕(Zoom)
- 令和3年度 令和3年度
東京都功労者表彰式
東京中央会
〔組合まつり出展者説明会〕
CPSM会会議
東京中央会
〔令和3年度表彰式〕
東京都鉄二健保組合
〔第20期組合会議員総会〕

- 11/1 東京都経営支援課
〔令和3年度団体情報連絡会〕
(Zoom)
- 11/4 東京中央会
〔組合管理者講習会〕
- 11/4 全国組合士協会連合会
〔第2回Webセミナー〕(Zoom)
- 11/10 第69回CPSM会
- 11/25 第73回中小企業団体全国大会
(全国中央会・神奈川中央会)
- 11/26 東京都鉄二健保組合
〔第503回理事会〕
- 11/30 全国組合士協会連合会
〔第3回理事会〕
- 12/1 第3回理事会(Zoom)
- 12/2 東京中央会
〔組合まつり in TOKYO〕
組合士協会
- 12/6 〔正副会長会議〕「常任理事会」
東京都鉄二健保組合
〔臨時理事会〕
- 12/24 第4回理事会(みなし)
- 令和4年 1/6 東京中央会「新年賀詞交歓会」

西日本一般缶工業協同組合

- 令和3年 8/6 役員会(Zoom)
- 12/3 役員会
- 令和4年 1/13 組合新春互礼会(Zoom)
- 令和3年 8/5 〔般缶イノベーションフォーラム
Online2021〕
第1回運営委員会(Zoom)
- 8/20 〔般缶イノベーションフォーラム
Online2021〕
第2回運営委員会(Zoom)
- 8/20 第4回全日本一般缶PR活動
推進協議会(Zoom)
- 9/9 〔般缶イノベーションフォーラム
Online2021〕
第3回運営委員会(Zoom)
- 9/17 経済産業省金属課
〔令和3年度般缶業況ヒアリング〕
(Teams)
エプロ2021

全日本一般缶工業団体連合会

- 10/11 〔出展ブースWG会議〕
第3回理事会(役員会)(Zoom)
- 10/11 第5回全日本一般缶PR活動
推進協議会(Zoom)
- 10/12 スチール缶リサイクル協会
〔記者説明会〕
エプロ2021
- 10/15 〔出展ブースWG会議〕
〔般缶イノベーションフォーラム
Online2021〕
- 10/19 第4回運営委員会(Zoom)
- 10/26 第6回全日本一般缶PR活動
推進協議会(Zoom)
- 10/26 スチール缶連絡協議会
〔般缶イノベーションフォーラム
Online2021(Zoom)〕
- 11/30 正副会長会議(Zoom)
- 12/8 エプロ2021
- 令和4年 1/17 第2回正副会長会議(Zoom)
- 令和4年 1/21 新年の集いOnline2022
- 1/26 スチール缶連絡協議会(Zoom)

東日本一般缶工業協同組合

- 1/13 三役年始挨拶回り
- 2/3 東京都鉄二健保組合
〔第504回理事会〕

**令和4年2月から
7月までの行事予定**

- 2/15 (Remote Meeting)
人材育成委員会
〔Webセミナー〕(Zoom)
- 3/2 事務局長協会「理事会」
- 3/11 事務局長協会・組合士協会
〔合同研修会〕
- 3/16 組合士協会
〔正副会長会議〕「常任理事会」
- 3/18 第5回理事会
- 3/24 事務局長協会
〔第66回定期総会〕
- 4/8 監事会
- 4/19 第1回理事会(ハイブリッド)
- 4/20 第70回CPSM会
組合士協会
- 4/20 〔正副会長会議〕「役員会」
組合士協会「通常総会」
- 5/17 第44回通常総会
- 5/31 東京中央会「第70回通常総会」
全国組合士協会連合会
〔通常総会〕
- 6/10 〔東日本組合員〕
〔代表者交代〕
東京都製缶
代表取締役社長 横川達也氏
令和3年12月
- 7/未定 第45回全国流通委員会
部会協議会

西日本一般缶工業協同組合

- 3/24 役員会
- 4月上旬 4S会ゴルフ
- 5月中旬 缶友会ゴルフ
- 5/19 第54期定時総会
- 6/8 合同部会
- 8/5 役員会

**令和3年6月～11月までの
一般缶生産出荷実績**

(単位:t)

年月	生産	出荷		在庫	
		販売	その他		
経済産業省データ	3.6	4,557 (4,196)	4,556 (4,008)	2 (14)	9,893 (8,837)
	7	4,277 (4,196)	4,204 (4,194)	2 (6)	9,957 (8,821)
	8	3,995 (3,655)	3,685 (3,557)	20 (1)	10,249 (8,913)
	9	4,666 (4,633)	4,403 (4,167)	2 (1)	10,518 (9,378)
	10	5,080 (5,132)	5,030 (5,039)	1 (1)	10,560 (9,467)
	11	5,402 (5,324)	5,576 (5,277)	18 (1)	10,357 (9,514)

年月	生産	出荷		在庫	
		販売	その他		
連合会データ	3.6	2,894 (2,433)	2,930 (2,418)		7,140 (7,202)
	7	2,868 (2,428)	2,921 (2,623)		6,984 (6,927)
	8	2,817 (2,278)	2,562 (2,275)		7,176 (6,954)
	9	2,988 (2,744)	2,813 (2,561)		7,302 (7,145)
	10	3,292 (3,235)	3,282 (3,226)		7,280 (7,138)
	11	3,549 (3,213)	3,702 (3,297)		7,104 (7,035)

()内は前年同月実績
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

全日本一般缶工業団体連合会

- 1/12 三役年始挨拶回り
- 1/21 新年の集いOnline2022
(Zoom)
- 3/18 第5回理事会(役員会)
- 3/18 第7回全日本一般缶PR活動
推進協議会
- 5/未定 会計監査
- 5/26 第1回理事会(役員会)
- 6/24 第44回定時総会
- 6/24 第1回全日本一般缶PR活動
推進協議会
- 7/未定 第45回全国流通委員会
部会協議会

組合伝言板

《代表者交代》
〔東日本組合員〕
東京都製缶
代表取締役社長 横川達也氏
令和3年12月

《新規加入組合員》
〔東日本協賛会員〕
千代田第一工業(株)
〒201-0004
東京都狛江市岩戸北3-11-9
電話 03(34488)4211
FAX 03(34430)0437
令和3年12月